# 【認知症に関する市民意識調査票】

**■調査の目的**

三次市では、現在「三次市いつまでもいきいき元気プラン」の策定を進めており、この調査は、認知症に関する意識や理解、日頃感じていることなどを把握し、今後の認知症施策や高齢者福祉の充実に役立てることを目的としています。
お手数ではございますが、ご協力お願いいたします。

**■回答方法**

本調査の回答方法は、調査票に直接ご記入のうえ郵送・ＦＡＸにて回答する方法と、パソコン・スマートフォンなどにより WEB にて回答する方法があります。いずれかの方法でお答えください。

**●郵送・ＦＡＸで回答する場合**

・黒い鉛筆もしくはボールペンで、あてはまる項目に☑（チェック）をつけてください。
一部の質問は記述式になります。
・すべての記入が終わりましたら、この調査票を３つ折りにして別添の返信用封筒（切手不要・高齢者福祉課宛）に入れて郵便ポストに投函、またはＦＡＸ送信（FAX ０８２４-６２-６２８５）してください。
・調査票、返信用封筒には氏名や住所は記入しないでください。

**●WEB で回答する場合**

・右記の 二次元コードを読み込むか、下記の URL にアクセスしてください。
なお、WEB で回答された場合は、郵送での回答はしないでください。
URL: https://apply.e-tumo.jp/city-miyoshi-hiroshima-u/offer/offerList_detail?tempSeq=32562

二次元コード

**■回答期限**

令和８年１１月２５日

**■回答にあたってのお願い**

・回答にあたっては、質問項目について、一般論ではなく、思ったことを率直にお答えくださいますよう、お願いいたします。
・質問によって、「複数選択」など、☑ をつける数が異なる場合がありますので、ご注意ください。
・答えにくい質問には、お答えいただかなくても構いません。

**■本調査についてのお問い合わせ先**

三次市福祉保健部 高齢者福祉課 高齢者福祉係（受付：平日 午前９時～午後５時）
電話番号：０８２４－６２－６１４５
ＦＡＸ　：０８２４－６２－６２８５

三次市福祉保健部高齢者福祉課

## 問１　回答者の属性について

**（１）あなたの年代を教えてください。**

□１０代以下　□２０代　□３０代　□４０代　□５０代　□６０代　□７０代
□８０代　□９０代以上　□回答しない

**（２）あなたの性別を教えてください。**

□男性　□女性　□その他　□回答しない

## 問２　認知症基本法や「新しい認知症観」について

**（１）令和６年１月１日に「認知症基本法※1」が施行されたことを知っていますか。**

□知っているし、内容も理解している
□知っているが、内容はわからない
□知らない
□回答しない

※１ 令和６年１月１日に、認知症基本法が施行され、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を目指していくことが示されました。

**（２）令和６年１２月に「認知症施策推進基本計画」において示された、「新しい認知症観※2」に関してお尋ねします。**
**「認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」と思いますか。**

□思う
□どちらかと言えばそう思う
□どちらかと言えばそう思わない
□思わない
□回答しない

※２ 「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」という考え方のことです。

**（３）上記（２）の回答の理由を教えてください。（自由記述）**

**（4）認知症をどれくらい身近に感じていますか。**

□とても身近に感じている
□ある程度身近に感じている
□あまり身近に感じていない
□全く身近に感じていない、自分や周りの人達には関係ない
□回答しない

**（5）認知症について知りたい、学びたいと思いますか。**

□思う
□どちらかと言えばそう思う
□どちらかと言えばそう思わない
□そう思わない
□回答しない

**（6）上記（5）で「思う」・「どちらかと言えばそう思う」と回答された方にお尋ねします。認知症に関するどのようなことを知りたい、学びたいと思いますか。（複数選択可）**

□認知症の症状について
□認知症の人への対応について
□介護の方法について
□利用できるサービスや制度について
□施設や事業所の情報について
□権利擁護支援（自分のことを自分で決めたり伝えることが難しくなったときへの備えなど）について
□認知症の予防について
□社会参加活動の場について
□認知症の人の気持ちや思いについて
□その他（　　）
□回答しない

## 問３　認知症に関する知識について

**（１）認知症は他の病気と同様、早期診断と早期対応が大切な病気です。早期発見により、以下のメリットがあるとされていますが、知っていることを教えてください。（複数選択可）**

□早期治療で改善も期待できる

認知症の原因は様々ですが、早期に発見し、早期に治療をはじめることで、改善が期待できるものもあります。

□進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができる場合があります。

□事前に様々な準備ができる

早期発見によって、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりすることができます。

□いずれも知らなかった

□回答しない

**（２）日本における認知症支援に関するシンボルカラーはオレンジ色であることを知っていますか。**

□知っている
□知らない
□回答しない

**（３）あなたは、成年後見制度※3のことを知っていますか。**

**※３　成年後見制度：認知症や障害などにより判断能力が低下した場合、家庭裁判所が財産管理や福祉サービスの適正な契約を行う後見人などを指定し、財産や権利を守る制度**

□よく知っている
□ある程度は知っている
□あまりよく知らない
□知らない
□回答しない

## 問４　認知症の人と関わった経験や接点について

**（１）あなたは今までに認知症の人もしくは認知症と思われる人と接したことがありますか。**（注 ご自身が認知症であると診断されている場合は、「ある」を選択してください。）

□ある
□ない
□わからない
□回答しない

**（２）上記（１）で、「ある」と回答された方にお尋ねします。認知症の人もしくは認知症と思われる人と接したのはどのような場面や状況ですか。　（複数選択可）**

□自身が認知症である
□家族にいる（いた）
□親戚にいる（いた）
□近所付き合いのなかで接したことがある
□医療・介護の現場で働いている（いた）ため、接したことがある
□医療・介護の現場以外の仕事を通じて、接したことがある
□街中や公共交通機関などで見かけたことがある
□街中や公共交通機関などで困っていたので声をかけたことがある
□わからない
□その他（　　）
□回答しない

## 問５　自分や身近な人が認知症になった場合について

以下の質問項目は、自分や家族が「認知症になったとしたら」と仮定しお答えいただくものです。
現在、自身や家族が認知症である場合は、現在の心境に近いと思われる項目を選択してください。

**（１）もしあなたが、自分や家族、身近な人について、「認知症かもしれない」と思ったり、周りの人から受診を勧められたら、医療機関を受診したり、医療機関への受診を勧めることができますか。**

□できると思う
□できないと思う
□まだわからない
□その他（　　）
□回答しない

**（２）上記（１）の回答の理由を教えてください。　（自由記述）**

**（３）もし、あなたが認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。**

□ 自分で工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
□ 医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
□ 身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
□ 周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
□ 誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
□ 回答しない

**（４）もし、あなたや家族などの大切な人が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに心配や不安を感じると思いますか。（複数選択可）**

□家族に身体的・精神的不安をかけるのではないか
□家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
□買物や調理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
□経済的に苦しくなるのではないか
□家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
□外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
□病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
□介護施設が利用できないのではないか
□必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できないのではないか
□不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害にあったりするのではないか
□誇りをもって生活できなくなるのではないか
□どこに相談すれば良いのかわからないのではないか
□わからない
□特にない
□その他（　　）
□回答しない

**（５）認知症になっても地域で安心して暮らすためには、何が必要だと思いますか。（複数選択可）**

□認知症の人が利用できる介護施設
□できるだけ早い段階から、医療・介護のサポート等を利用できる仕組み
□家族の身体的・精神的負担を減らす取組
□認知症の人が安心して過ごせる場、活動できる場の充実
□認知症のことを相談できる窓口・体制
□家族の仕事と介護の両立支援等を含めた、経済的負担を減らす取組
□認知症の人を地域で見守る体制
□悪徳商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組
□日常生活の中で必要となる財産管理等への支援の充実
□６５歳未満で発症する若年性認知症の人への支援
□市民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
□特にない
□わからない
□回答しない

**（６）もしあなた自身や家族が認知症になったとしたら、友人や近隣の人、職場の人に認知症であることを伝えようと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。**

| 友人に対して | 近隣の人に対して | 職場の人に対して |
|---|---|---|
| ☐ 積極的に伝えようと思う | ☐ 積極的に伝えようと思う | ☐ 積極的に伝えようと思う |
| ☐ 必要に応じて伝えようと思う | ☐ 必要に応じて伝えようと思う | ☐ 必要に応じて伝えようと思う |
| ☐ 伝えようとは思わない | ☐ 伝えようとは思わない | ☐ 伝えようとは思わない |
| ☐ まだわからない | ☐ まだわからない | ☐ まだわからない |
| ☐ 回答しない | ☐ 回答しない | ☐ 回答しない |

**（７）上記（６）の回答の理由を教えてください。（自由記述）**

**（８）認知症に関する相談先について、知っているものはありますか。（複数選択可）**

☐ かかりつけ医
☐ 地域包括支援センター
☐ 認知症疾患医療センター
☐ 認知症初期集中支援チーム
☐ 認知症の人と家族の会
☐ 若年性認知症支援コーディネーター
☐ その他（　　）
☐ 知っているものはない
☐ 回答しない

**（９）自らの考えや思いを伝えられなくなったときに備えて、「大切にしていること」や「望む医療やケア（介護など）」について、エンディングノート※4などに記録したり、家族や大切な人と話し合っておいたりすることは大切だと思いますか。次のそれぞれについて、あてはまるものを選択してください。**

| 自分のこと | 家族などのこと |
|---|---|
| ☐ 大切だと思うし、話し合っている | ☐ 大切だと思うし、話し合っている |
| ☐ 大切だと思うが、話し合っていない | ☐ 大切だと思うが、話し合っていない |
| ☐ 大切だと思わないが、話し合っている | ☐ 大切だと思わないが、話し合っている |
| ☐ 大切だと思わないし、話し合っていない | ☐ 大切だと思わないし、話し合っていない |
| ☐ 回答しない | ☐ 回答しない |

※４　自分の人生の終末について記したノートです。万が一に備えて、家族や友人に伝えておきたいことや自分の希望などを書き留めておけます。そのため、終活の一環として作成されることが一般的です。

**（１０）認知症の診断・診療のできる医療機関を知っていますか。**

☐ 知っている
☐ 知らない
☐ 回答しない

## 問６　三次市の認知症に関する取り組みについて

**（１）三次市が実施する認知症に関する取り組みのなかで、知っているもの、聞いたことがあるものを選択してください。（複数選択可）**

□認知症相談窓口
□認知症ケアパス（認知症に関するガイドブック）
□認知症サポーター養成講座
□認知症カフェ
□チームオレンジ
□認知症初期集中支援推進事業※５
□認知症の人にもやさしい事業所
□ＧＰＳ端末貸与事業（どこ・どこサービス）
□見守りシール交付事業
□その他（　　）
□知っているものはない
□回答しない

※５　認知症が疑われる人や認知症の人、およびその家族を専門職のチームが訪問し、早期に包括的・集中的な支援（おおむね６ヶ月以内）を行って自立した生活をサポートする事業。

**（２）三次市や地域で実施する認知症に関する講座やイベントに、参加者として参加してみたいと思いますか。**

□思う
□どちらかと言えばそう思う
□どちらかと言えばそう思わない
□そう思わない
□回答しない

**（３）三次市の認知症に関する取り組みへのご意見、認知症について感じていること・考えていることなど、何でもご自由にお書きください。　（自由記述）**

■■■以上で意識調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■